

バーベナ クォーツ XP/クォーツ・シリーズ

最高の発芽、そして生まれもった苗の力強さ。
どのバーベナよりも高い満足をお届けします。

- クォーツは、バーベナの大敵であるウドンコ病への耐性にすぐれ、花壇での強さに差が現れるシリーズです。
- ひとつひとつの花も大きく、そしてそれによって構成される花序も大きく、ダークグリーンの葉と美しいコントラストが織り成される品種。
- クォーツ XP はさらに早生になり、シリーズの早晩が短く約 1 週間で開花が揃います。
- ・ クォーツ XP は節間も短くなり、コンパクトに仕上がります。

本品種の学名: *Verbena x hybrida*

種子粒数: 420 粒/グラム

発芽ステージ

播種

- 培地の水分管理が、バーベナの発芽の成否を左右する重要なカギになります。
- バーベナの播種用では、ドライから中くらいの水分を含んだ培地で行います。水分が多くなってくると、発芽パフォーマンスは徐々に下がってきます。
- (ドライから中くらいの)水分レベルは、播種・覆土マシンのウォータートンネルの水圧やミストノズルの数、あるいはスピードを調節することでコントロールが可能です。

プラグ培地の水分レベルを

判断するための標準概念(標準定義):

過湿の定義: 培地が過湿のときは、プラグトレイの下側を指で軽く押してやると、トレイの底や土の表面から水が浸出していきます。

メディアムウェット(中庸の水分量)の定義: 培地の表面は依然、水で光っていますが、「過湿」のときのように水がトレイの底から浸出することはありません。指先で触れてみて、培地の上部にだけ少し浸透している状態。

ドライ: 培地の表面の色がライトブラウンになり、トレイのセルを押しても底から水分が浸出してこない状態。

ステージ 1 (播種から幼根発現まで)

発芽温度: 22-24℃
 相対湿度: 95-97%
 発芽日数: 4-6 日
 トレイサイズ: 392 穴プラグトレイ

プラグトレイは、粗めのパーミキュライトでよく覆土します。バーベナの発芽生理として、嫌光性なので、しっかりと光の入らない環境を作ります。

ステージ 2 (幼根発現から子葉展開まで; 10-14 日)

温度 昼間/夜間をそれぞれ 21-22℃/15℃で管理します。

光 26,900 ルクス以上

水分レベル 発芽チャンバーから一度トレイを出したら、土壌の水分はふつうに(ぬらし過ぎず、乾かし過ぎず)管理しましょう。苗がしっかり活着するまでは、水をやり過ぎ(過湿)ないようにしましょう。

肥料: リン酸分の少ない、硝酸態の肥料で 100ppm 以下 (EC 0.7ms/cm) で与えます。培地の pH を 5.8 - 6.2、EC を 0.5 - 0.7 mS/cm に維持します。

ステージ 3 (子葉展開から本葉生長まで; 10-14 日)

温度 昼間/夜間をそれぞれ 21-22℃/15℃で管理します。

肥料 100~175ppm まで肥料レベルを上げます (EC 0.7~1.2mS/cm)。培地の pH を 5.8 - 6.2、EC を 0.7 - 1.0 ms/cm に維持します。

ステージ 4 (本葉生長から出荷・移植時まで; 7 日)

温度、肥料はステージ 3 と同じように管理する。

温度管理が可能なら光は 53,800 ルクスまで上げてよい。このステージ以降は、ウドンコ病が入り込んでいないかにも注意を払います。

矮化剤

(北米) 苗のしまり具合や色づけのために矮化剤処理を施すのであれば、10ppm の A-レストを葉面散布することで効果があります。

プラグ生産に要するトータル期間:

392 穴のトレイを用いた場合、概ね 5-6 週。

鉢上げから出荷までのステージ

培地

水はけがよく、新しく衛生的な、ピートなどを主体とした pH5.5~6.2 で元肥を含んだ培地を用いましょう。

温度

昼間温度 18-21℃、夜間温度 15℃を出荷ステージまで維持します。バーベナは 13℃程度の低温でも生育しますが生育期間が長くなります。

光条件

適温を維持できるならなるべく高照度を維持します。

湿度

生育環境においては高い湿度は避けましょう。湿度が高いと、ウドンコ病発生の頻度が高くなります。

肥料

ポット上げ後 1 週してから、リン酸分の少ない硝酸態の肥料で 175～225ppm(N)(EC1.2～1.5mS/cm)の濃度で施肥を開始します。もし必要であれば生育促進と培地の pH 調節のためにアンモニア態と硝酸態のバランスのよい肥料を使用します。

矮化剤処理

生長制御のために矮化剤を用いる場合は、ポット上げ後 1 週で A-レストを 20ppm 葉面散布します。さらに 10-14 日後に 2 回目の散布を行います。必要であれば、3 度目として、やはり同じくらいの間隔をおいて B-ナインを 3,500ppm で同様に葉面散布すると効果が見られます。あるいは、A-レストを 20ppm で 3 度目の葉面散布も可能です。

平均的な生産期間

平均的な生産期間

播種から鉢上げまでの期間(392 穴):

クォーツ XP 約 4 週間

クォーツ 約 5 週間

定植から開花まで(606 カットパック):

6～8 週

トータルの生産期間

サイズ	本数	春	秋
606 パック (約 6cm)	1 本	XP 10～12 週 ブルー 11～13 週	XP 9～11 週 ブルー 10～12 週

予想される一般的な生育障害

害虫: ハダニ、スリップス

病気: ウドンコ病

ハウス内の環境において、過湿や高湿度をできるだけ避けましょう。

*: EC 値(電気伝導度)の数値は、北アメリカのピート主体の培地が算出要素になっているので、日本国内では適合し得ない場合もあります。

PanAmerican Seed

PanAmerican Seed Co.
622 Town Road, West Chicago, Illinois, USA 60185-2698
630 231-1400 Fax: 630 231-3609 www.panamseed.com

™と®は、アメリカ合衆国におけるボール・ホーティカルチャー・カンパニーの登録商標であり、国際登録制度に基づき、当該国以外においても出願および登録されている場合があります。

© 2003 Ball Horticultural Company
Originally released as PAS02144 in USA in 2003, and under admission translated into Japanese in 2004.
Printed In Japan